EXPO 2025 IP Message (仮訳)

2025年10月4日、世界知的所有権機関(WIPO)と世界の知的財産庁(知財庁)は、

日本の大阪・関西で開催される2025年万博において、日本特許庁が主催するイベントで、女性と若者のエンパワメント、そして持続可能な国際社会のためのグリーンイノベーションを推進するという共通の目標とともに、地球規模課題を解決する知財活用促進に関する国際フォーラムに集まり、

知財制度を活用してどのようにこれらの課題に対処するか議論する重要性を認識し、

性別や年齢に関係なく、イノベーションに関与するすべての人々の知財に関する知識を深めることの重要性を再確認し、

知財は未来の世代に引き継がれるアセットであることを踏まえ、知財エコシステムは、信頼され、堅牢で、バランスが取れ、尊重されるべきものであるということを認識し、

気候変動問題における解決策に係るイノベーションは未来の世代の命にとって重要であることから、こうした解決策に貢献する知財が保護され、そして評価されるよう努め、

また、女性や若者の独自の視点や創造性は、国際的に前向きの変化を生み出す大きな可能性を秘めていることから、イノベーションや知財の発展における女性・若者参画が増えることを期待するとともに、

「WIPO GREEN」と「Women and Youth」というテーマについてラウンドテーブルディスカッションを行い、以下の協力の方向性が示されました。

持続可能な国際社会のための知財を活用したグリーンイノベーションの促進

気候変動を緩和するための解決策に貢献することを目指し、グリーン技術の開発と移転を促進。グリーン技術の移転の促進のために、WIPO GREEN データベースやアクセラレーションプロジェクトを支援することを含め、WIPO GREEN の取組を支持するとともに、WIPO GREEN を積極的に活用。

WIPO GREEN のマッチメイキングの可能性をさらに高めるために、民間セクターに対して、グリーン技術のイノベーションを推進する戦略の実施を促し WIPO GREEN に関連する技術やニーズを登録するよう奨励。マッチメイキングの成功に導くべく、技術の提供者と希望者の両方に対する支援の必要性を認識し、アクセラレーションプロジェクトやビジネス戦略の取組を含めマッチメイキングの更なる促進に向けた取組や能力を支援。

技術移転を促進するためにベストプラクティスを共有しつつ、WIPO GREEN における公的機関、知財庁、企業、アカデミア、機関の参加を拡大し、WIPO GREEN の強化に貢献するネットワークを強化。

社会課題を解決する環境技術移転の成功事例に関する議論や、マッチングに関連する課題や解決策、更には政府・産業界の役割についての議論に刺激を受け、

環境課題に取り組むにあたっては、各国のステークホルダーを巻き込むことによって、また、その国の知財関連の政策に沿った形で取組を強化しつつ、それぞれの国の知財庁が、中心的な役割を果たすことができると確信。

知財を通じた女性と若者のエンパワメント

女性と若者がそれぞれの強みと視点を活かし、知財を通じて活躍できる社会の実現に向けて、特許、意匠、商標の保護に関する教育等を通じて、若者にとってよりアクセスしやすく、身近で、実践的な知財制度を積極的に推進し、また、発明や科学、技術、工学、数学（STEM）分野への関心を育むことにも努力。

女性の視点と創造性が価値を生み出し、イノベーションの進展や持続可能な社会に大きく貢献することを認識。このため、知財を活用し、技術の進展に参加し、新しいビジネスを創出する女性のイノベーターを支援するため、教育、トレーニング、メンタリングを通じて、環境の整備及び醸成に貢献。

若者のアイデアや情熱がグローバルな課題に対処するために重要であると信じる。若者が創造性や起業家精神を活かして新しい技術やビジネスを開発できるよう、知財の活用方法についての理解を深めるアントレプレナーシップ教育を強化し、若者主導のイノベーションを促進。また、イノベーションエコシステムのすべての段階で若者のリーダーシップの重要性を認識し、包摂的で未来思考であり、持続可能なイノベーションを強化するために世代を超えた協働を奨励。

国内外の知財やその他の分野の組織、ステークホルダーと協力することで、イノベーションエコシステム全体で女性と若者を支援し、エンパワメントするための取組を強化。